

プログラム

日時：平成29年2月5日（日）～6日（月）

場所：九州大学病院キャンパス

「コラポステーション I 視聴覚ホール」

領域会議（第1日目）

領域代表挨拶 13:00-13:10

セッション1 13:10-14:22 座長 脇田 隆宇

- | | | |
|-----|-------|--|
| 1-1 | 川口 寧 | 単純ヘルペスウイルスの小胞媒介性輸送の解析 |
| 1-2 | 竹田 誠 | インフルエンザウイルスHAストーク糖鎖の役割に関する研究 |
| 1-3 | 植木 尚子 | 大型二本鎖DNAウイルス：多因子・多層制御による宿主感染機序の理解を目指して |
| 1-4 | 朝長 啓造 | RNA ウイルス複製場の形成と崩壊における核内コンピテンシーの解明 |
| 1-5 | 伊庭 英夫 | 幅広いウイルス感染に対するコンピテンシーを規定する宿主 microRNA の研究 |
| 1-6 | 夏目 徹 | 感染体-宿主ネットワーク解析 |

Break 14:22-14:40

セッション2	14:40-16:04	座長	荒瀬 尚
1-7	杉田 昌彦	ウイルスリポペプチドを標的とした新たなCTL 応答～その分子基盤と機能～	
1-8	久保 允人	インフルエンザウイルスの応答におけるマスト細胞の働き	
1-9	一戸 猛志	SFTS ウイルスNSs タンパク質によるIFN 抑制機構の解析	
1-10	小原 道法	肝炎ウイルスの排除・持続感染化に関わる宿主因子の動物種及び臓器特異性の解明	
1-11	川崎 拓実	ウイルス感染防御におけるイノシトールリン脂質の役割	
1-12	大場 雄介	ウイルス感染コンピテンシーのheterogeneity を決定する宿主因子の同定	
1-13	佐々木 顕	宿主体内の複数の感染部位で増殖するウイルスの増殖動態とR0中心性を用いた最適な防除戦略	

Break **16:04-16:22**

セッション3	16:22-17:46	座長	伊庭 英夫
1-14	藤田 尚志	重症熱性血小板減少症候群ウイルスSFTSV感染による自然免疫応答と病態発症機構の解明	
1-15	米山 光俊	宿主RNA 結合タンパク質 (RBP) によるウイルス感染応答と細胞機能制御	
1-16	小柴 琢己	ウイルス感染とミトコンドリア	
1-17	高折 晃史	APOBEC3GとHIV-1 Vifの機能的相互作用の解析	
1-18	宮澤 正顕	細胞内複製制限因子APOBEC3の進化要因としての異種由来レトロウイルス	
1-19	片平 正人	APOBEC3Gとは異なるAPOBEC3Bの標的認識機構及びVifによるAPOBEC3Gの活性阻害	
1-20	小柳 義夫	ウイルス-宿主タンパク質相互作用とバイオインフォマティクス解析に基づくHIVの流行拡大原理の理解	

懇親会 **19:00-** **稚加栄**

領域会議（第2日目）

セッション4	9:00-10:12	座長	藤田 尚志
2-1	脇田 隆宇	HCV 複製複合体を含む膜小胞の形成メカニズムの解析	
2-2	竹安 邦夫	Nanoimaging of RNA Molecules with Atomic Force Microscopy	
2-3	永田 恭介	マイナス鎖RNAウイルス複製におけるウイルスと宿主の攻防	
2-4	野田 岳志	インフルエンザウイルスの選択的ゲノムパッケージング機構の解析	
2-5	岩崎 憲治	インフルエンザウイルスvRNP複合体の転写・複製スイッチング機構の解明	
2-6	朴 三用	インフルエンザRNAポリメラーゼPAサブユニットを特異的に認識するウイルス増殖阻害抗体の開発	
Break	10:12-10:30		
セッション5	10:30-11:30	座長	小柳 義夫
2-7	高田 礼人	フィロウイルスの細胞侵入メカニズムと宿主域に関する研究	
2-8	柳 雄介	麻疹ウイルスの神経細胞感染・伝播機構	
2-9	荒瀬 尚	ウイルスの宿主細胞選択におけるエンベロープの糖鎖機能	
2-10	小池 智	EV71の受容体の利用と病原性	
2-11	俣野 哲朗	宿主間の感染伝播におけるHIVゲノム・病原性の変化に関する研究	
評価委員講評・事務連絡	11:30-11:45		
総括班会議	12:00-12:30		